

循環生活人

第37号

発行日：令和5年12月



より多くの人がコンポストを暮らしに取り入れることを目指し、私たちは2005年から「コンポストアドバイザー」の養成に取り組んでいます。現在約160名のアドバイザーが登録しており、全国各地でコンポスト講習会を開いたり、ユーザーのみなさんの相談に乗るなど地域に根差した活動を行っています。今年度のアドバイザー養成講座には福岡、沖縄、愛知、岐阜、東京から9名が参加し、各地で活動を始めています。

コンポストは家庭で一人で取り組むことが多いのですが、そうになると「これであっているの?」「うまく分解していない気がする」など不安になることがあります。そんな時にアドバイザーからコンポストの上手な使い方を学び、集まった人同士でコンポストに起きた変化などを共有すると、理解が深まり、より楽しく取り組みやすくなります。

先日、例年コンポスト講習で訪れていた離島の自治体からコロナ禍以降四年ぶりにご依頼いただき、5時間かけて再訪しました。講習会に来られた皆さんは、持ち寄った堆肥に触れ、においを感じ、「この堆肥はいい!」などと言いつつ盛り上がります。「ずっとコンポストを続けている。生ごみ堆肥で育った花の色がとてもきれい。」と89歳の方がお話しされると、他の参加者からも次々と自分のコンポストや堆肥で育てている植物のお話が出てきました。

各地のアドバイザーは、マニュアルや、動画だけでは得られない、対面ならではのコミュニケーションを大事に普及活動に取り組んでいます。近くにコンポストアドバイザーはいる?、地域でコンポストを伝えることをやってみたい...など、いつでもお問い合わせくださいね。